

# 住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり

# 駅周辺地区勉強会ニュース

第1号 平成23年12月

## 駅周辺地区勉強会が発足しました！

高砂地区開発協議会では、「開かずの踏切」の解消に向けて、京成本線（京成高砂駅から江戸川駅間）の鉄道立体化と、高砂駅周辺のまちづくりを進めるため、様々な取り組みを行なっています。

平成17年度からまちづくりの検討を始め、アンケート調査やまちづくり報告会などを通じて地域の皆さんのご意見をいただきながら、「高砂駅周辺まちづくり基本構想・まちづくり方針」をとりまとめ、葛飾区に提案しました。

これからは、高砂地区全体のまちづくりの考え方を踏まえ、個別の地区ごとの具体的なまちづくりを、皆さんと一緒に考えていく必要があります。

そこで、平成23年10月、高砂駅周辺の町会の推薦を受けた方と応募していただいた方から委員を構成して、地区にお住まいの方々による勉強会を発足しました。



渋滞する高砂1号踏切

**「開かずの踏切」の解消と賑わいある高砂駅周辺のまちづくりを一緒に検討していきましょう！**

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

（担当：野澤・竹内・飯田）

電話 03-5654-8344（直通） 03-3695-1111（内線3412）

ファックス 03-3697-1660

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1





# 駅周辺地区のまちづくり・Q&A

まちづくりや鉄道立体化など、皆様のご質問にお答えします。

鉄道立体化は、今、  
どんな状況ですか？



京成高砂駅から江戸川駅間は、平成20年6月に、東京都において、鉄道立体化の事業化を目指す「事業候補区間」5区間のうちのひとつに選ばれました。平成21年度から、東京都によって、連続立体交差事業の調査が行われています。

鉄道立体化とまちづくりは、  
どうして関係があるのですか？

連続立体交差事業には、莫大な費用がかかります。事業効果を上げるために、まちづくりと一緒にすることが国や東京都から求められています。

なぜ、駅周辺地区で勉強会が  
発足したのですか？

駅周辺地区では、駅前広場や広場へ連絡する道路の整備、魅力的な商業環境の形成がまちづくりの課題となっています。そこで、地域の皆さんと一緒に、駅前としての公共施設のあり方や、商業地のあり方について検討するため、勉強会を発足しました。

高砂地区開発協議会と勉強会は、  
どんな構成になっていますか？

## 開発協議会と勉強会の構成

〔開発協議会とは〕

- ・開発協議会は、各町会・商店会の委員で構成されており、平成14年度から、高砂駅周辺の「開かずの踏切」の解消に向けた広範囲な運動を行っています。

〔まちづくり委員会とは〕

- ・鉄道立体化の実現には駅周辺のまちづくりが必要であることから、平成17年に開発協議会の下部組織として発足し、高砂のまちづくりの方向性や基本的な考え方、具体的なイメージの検討、まちづくりの普及・啓発活動に取り組んでいます。

〔駅周辺地区勉強会とは〕

- ・駅周辺地区勉強会は、高砂駅周辺の町会から推薦を受けた方と、応募していただいた方の合計27名で構成されています。

<自治町会>

高砂南町会  
高砂北町会  
団地自治会  
住吉自治会  
鎌倉自治会

<商店会>

高砂商店会  
高砂南商友会  
住吉商店会  
エビス通り商店会

地元団体で発足

各団体が推薦する委員で構成

地区に関係する団体が推薦する委員、応募頂いた委員で構成

高砂地区開発協議会(平成14年度～)

まちづくり委員会(平成17年度～)

駅周辺地区勉強会(平成23年度～)

南地区勉強会(平成23年度～)





## 第1回勉強会の様子

サンシャイン水族館にも立ち寄りました!

第1回勉強会(平成23年10月26日開催)は、事例視察として開催しました。31人の皆さんが参加し、西武池袋線石神井公園駅周辺と、東池袋駅周辺のまちづくりを視察しました。

### ①西武池袋線石神井公園駅周辺のまちづくり(練馬区)



石神井公園駅周辺地区では、鉄道連続立体交差事業や都市計画道路、南口の交通広場の整備により、まちをめぐる状況が大きく変わりつつあります。そのため、平成15年に「石神井公園駅周辺地区まちづくり全体構想」を策定し、立体交差事業等の進捗をふまえた、段階的なまちづくりを進めています。

←石神井公園駅北側から見た駅舎

### ②東池袋駅周辺のまちづくり(豊島区)

東池袋はサンシャイン60をはじめとする超高層の商業・業務ビルなどが建ち並ぶ一方、老朽建物が密集するまちも形成されています。東池袋4・5丁目を中心に、密集市街地の改善や都市計画道路の整備など、安全で住みよいまちづくりが進められています。



↑東池袋は都電荒川線が走るまち

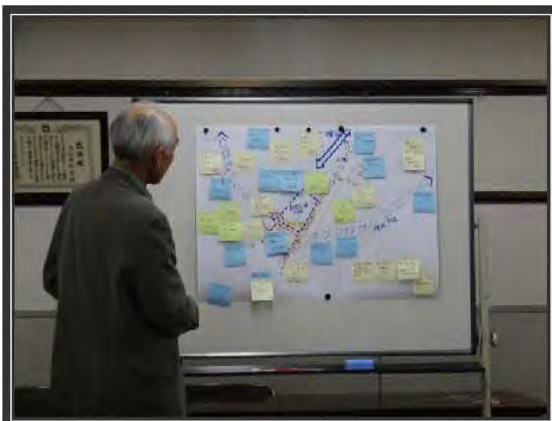
## 第2回勉強会の様子

### これまでの協議会活動の振り返りとワークショップ



第2回勉強会(平成23年11月9日開催)は、これまでの活動について振り返るとともに、道路や駅前広場について学習しました。そして、青砥駅周辺を事例としてまちのよいところ改善したいところを出し合いながら「理想的なまちづくり」について2グループに分かれて議論しました。

2つのグループに分かれての作業でしたので、ひとりひとりの意見が出しやすい雰囲気になり、熱心な意見交換ができました。



←発表の様子

主な意見は以下のようなものがありました。

- ・せっかく鉄道が高架になったのに、駅前広場がないために、タクシーに乗りにくかったり、バス停が遠かったり不便ではないか。
- ・道路も狭く、一方通行で分かりにくい。
- ・高架下に店舗がたくさん入っているが、地元の商店街と連携がとれていないのではないか。
- ・高砂では、鉄道立体化と合わせて駅前広場や駅前の顔づくりをしていきたい。



### ★勉強会のスケジュール

- |     |               |                                                 |
|-----|---------------|-------------------------------------------------|
| 第3回 | (平成23年12月8日)  | まち歩きとワークショップ                                    |
| 第4回 | (平成23年12月15日) | 林試の森公園周辺の防災まちづくり(品川区)・<br>東京臨海広域防災公園(そなエリア東京)視察 |
| 第5回 | (平成24年1月下旬)   | まちづくり手法の学習                                      |
| 第6回 | (平成24年2月頃)    | まちづくり手法の学習                                      |
| 第7回 | (平成24年3月頃)    | 東京スカイツリー・曳舟駅周辺のまちづくり<br>(墨田区)視察                 |
| 第8回 | (平成24年3月頃)    | 今年度のまとめ                                         |

キリトリ線

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第1号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前  
FAX:



高砂地区開発協議会事務局  
葛飾区役所 高砂地域整備担当  
FAX : 03-3697-1660